

令和元年度 保幼小連携地区ブロック活動報告書

1 地区ブロック名 大胡 地区ブロック

今年度のテーマ ポイントとなる姿（ 協同性 ）

2 地区ブロックの組織（ブロック内学校・園・所名）

- ・大胡小学校 ・大胡東小学校 ・滝窪小学校 金丸分校
- ・おおご幼稚園 ・**大胡第一保育園** ・認定こども園大胡第2こども園
- ・大胡第三保育園 ・おおどり保育園

3 連携推進活動（実施した交流活動等）

日 時	場 所	内 容
5月16日（木）	総合福祉会館	第一回地区ブロック会議 計画立案・情報交換
6月 1日（土）	大胡第一保育園 大胡第2こども園	3歳以上児保育参観 保育参観
6月 8日（土）	大胡第三保育園	3歳以上児保育参観
6月13日（木）	大胡小学校	一日学校公開
7月 2日（火）	大胡東小学校	4校時学習参観 給食試食会
9月14日（土）	おおご幼稚園	運動会
9月21日（土）	大胡小学校 大胡東小学校 滝窪小学校	運動会 運動会 運動会
9月28日（土）	大胡第一保育園 大胡第2こども園 大胡第三保育園	運動会 運動会 運動会
10月12日（土）	おおどり保育園	運動会
○10月17日（木）	大胡第一保育園	地区ブロック研修会 公開保育・情報交換（10:00～11:30）
11月15日（金）	滝窪小学校	学校公開（持久走大会）
11月22日（金）	大胡東小学校	一日学校公開
12月 4日（水）	大胡小学校	一日学校公開
2月 6日（木）	大胡小学校	5校時学習参観
2月13日（木）	大胡東小学校 おおご幼稚園	学習参観 年長公開保育（一日）
常時	おおどり保育園	行事日以外常時（9:00～18:00）

4 令和2年度の代表校園所【滝窪小学校】

5 これからの保育・教育に生かしたいこと

- 保育を参観させていただき、ありがとうございました。子どもたちの話を聞く姿勢や主体的に活動する様子から、普段からきちんと規律を大切に、そして支援をされている様子が窺えました。小学校でも子どもたちが保育園や幼稚園で教わった事を把握し、それをベースとして新たに教えていけるようにしていきたいと改めて思いました。ありがとうございました。
- 一つのグループで相談して作品を作り上げる活動に参観した子どもたちが協力しながら自主的に作品作りに取り組む姿を見て、作業が円滑に進められるようグループ編成を配慮したり、子どもたちの言葉に受容的な姿勢で答えたりするなど、教師が見通しをもちまとめしていく力が必要だと感じた。小学校だと個別に課題を追求する活動が多くなりがちだが、活動の形態を工夫する事によって、子どもたちが関わり、学びが深まる事も考えられるので、今日のようなグループ活動も多く取り入れていきたい。
- 制作の様子を観察させていただき、グループで一つのものを作っている中で、お互いの思いや考えを伝え合っていました。そこで、相手を否定せず、意見を取り入れたり、他のアイデアにつなげたりする姿が印象的でした。自分が言われて嫌なことはしない、相手への伝え方など保育者が日々伝えていることもあり、気持ちに折り合いをつけ協力して作っていました。日々の積み重ねで育ち、今の姿があることが改めて分かり、言葉掛けなど意識して関わっていききたいと思いました。
- 「協同性」をテーマにグループで一つの人形を作り上げる活動を見させていただきましたが、園児が自分のやりたいこととグループの流れが違っていても、子どもたちだけできちんと交渉したり、譲り合ったりして対応している姿に感心しました。保育園で幼い頃から先生方に見守られながら一緒に育ってきて、積み重ねてきた関係性があるからこそのことだと思います。小学校に入ると、新しい友達との新しい関係がスタートするわけですが、年長さんの時にできていた友達との上手な関わり方が、新しい友達ともできるように担任が目と心を配り、受容的な態度で接していくことが大切なのだと改めて感じました。それぞれの園で経験してきたことを踏まえての「今」なのだという事をもっと意識して、児童の教育にあたっていきたいです。
- 保育園でも幼稚園でも保育の中で育った力が子どもたちの基礎となっていくのだと改めて感じました。「協同性」ということで、テーマを一つ決めて、グループで一つの作品を作るというのはイメージできましたが、一人の人形を皆で作るというのは新鮮でした。周りの様子を感じながら、自分の思いだけではなく、パーツを作るのは子どもたちにとって難しかったの

かもしれませんが、ちょっとだけ難しい、ちょっとだけ自分の気持ちを抑えるなど、ちょっとだけ〇〇を意識することで、協同性へつながっていくと感じました。また、「みんなでやると楽しい」という成功体験を積み重ねて、小学校へつなげたいと思います。

- 活動を円滑に進める為にバランスの良いグループ作りを考えがちだが、あえて消極的な子だけを集めてグループを作り、活動は円滑に進まなくても「自ら行動しなければ・・・」と思わせる逆転の発想は、結果として、その子の新たな一面を引き出すきっかけになるのではないかと思った。
- 参観後の協議の中で、グループ決めについてのお話がありました。子どもたち自身がグループ決める方法や保育者が意図を持って決めたり、促したりする方法など、様々なパターンを皆さんからうかがい、勉強になりました。年齢や、クラスのその時の雰囲気などを見極めた上で、“10の姿”と照らし合わせながら、グループ決めをしていきたいと思います。ありがとうございました。

